

① 書籍の場合

<例>

碓井崧・丸山哲央・大野道邦・橋本和幸編（2000）『社会学の理論』有斐閣ブックス
木下是雄（1994）『レポートの組み立て方』ちくま学芸文庫
戸田山和久（2002）『論文の教室 レポートから卒論まで』NHKブックス 954 日本放送出版協会
ブルデュー, P.・パスロン, J.-C. 宮島喬訳（1991）『再生産論 教育・社会・文化』藤原書房

著者名（編者名）、発行年、本のタイトル、出版社の順に書きます。訳本の場合は、著者名（編者名）、訳者名、発行年、本のタイトル、出版社の順に書きます。

著者、編者が二人以上いるときは、中黒（・）でつなぎます。

発行年は（ ）でくくり、年数は半角で書きます。

本のタイトルは『 』でくくり、タイトルとサブタイトルの間にはスペースを入れます。

訳本の場合は、原著者の名字をカタカナで始めに書き、コンマ（,）の後に名前の頭文字を大文字で書きます。

② 書籍に収録されている論文や章の場合

<例>

小森陽一（1994）「解釈－漱石テクストの多様な読解可能性」小林康夫・船曳建夫編『知の技法 東京大学教養学部「基礎演習」テキスト』東京大学出版会 pp.78-89
杉本良夫（1997）「日本文化という神話」井上俊・上野千鶴子・大澤真幸・見田宗介・吉見俊哉編『岩波講座現代社会学 23 巻 日本文化の社会学』岩波書店 pp.7-37

著者名、本の発行年、論文もしくは章のタイトル、本の著者名（編者名）、本のタイトル、出版社、論文もしくは章の該当ページの順に書きます。

論文、章の著者が二人以上いるときは、中黒（・）でつなぎます。

本の発行年は（ ）でくくり、

論文もしくは章のタイトルは「 」でくくり、

本の著者（編者）が二人以上の場合は、中黒（・）でつなぎます。

本のタイトルは『 』でくくり、

最後に書く論文、章の該当ページは、半角で書きます。ページ数の前に pp. をつけます。pp は半角にし、後ろに半角のピリオド（.）を忘れないようにしましょう。始まりのページと終わりのページの間は半角のハイフン（-）でつなぎます。

③ 雑誌論文

<例>

梅津彰人（1995）「キャンパスの文章－卒業論文」『国文学 解釈と教材の研究』, 40, (2), 71-74.

須賀晃一（1993）「レポート・卒業論文の書き方」『福岡大学経済学論叢』, 37, (3), 411-457.

中村忠（1998）「論文の書き方」『創価経営論集』, 23, (1), 59-66.

著者名，発行年，論文タイトル，雑誌名，巻数 (vol.)，号数 (No.)，論文の該当ページ数の順で書きます。

論文の著者が二人以上いるときは，中黒 (・) でつなぎます。

発行年は () でくくります。

論文タイトルは「 」でくくります。

雑誌のタイトルは『 』でくくります。

雑誌タイトルの後に，半角でコンマ (,) を入れ，半角のスペースを空けて雑誌の巻数を半角の数字で書きます。雑誌によっては，巻を vol. と書いているものもあります。

巻数の次に，半角でコンマ (,) を入れ，半角のスペースを空けて雑誌の号数を半角の数字で書きます。雑誌によっては，号を No. と書いているものもあります。号数は，半角の()でくくります。

もし，雑誌に巻数もしくは号数しか書かれていなければ，書いてあるものを雑誌のタイトルの後ろに書きます。その場合，()でくくる必要はありません。

最後に，半角のコンマ (,) と半角のスペースに続けて，論文の該当ページを書きます。本に収録されている論文や章とは違い，pp.を書かずに，始まりのページ，半角のハイフン (-)，終わりのページを書き，その後に半角のピリオド (.) を打ちます。

④ インターネット資料の場合

<例>

文部科学省（2001）「留学生の受け入れ概況（平成13年版）」2001年10月発表 文部科学省 Homepage (<http://www.mext.go.jp/>) (2001年1月現在)

留学生政策懇談会（1999）「知的国際貢献の発展と新たな留学生政策の展開を目指して－ポスト2,000年の留学生政策－」1999年3月24日発表 文部科学省 Homepage (<http://www.mext.go.jp/>) (2001年1月現在)

著者名，もしくはページ運営者名，ページが書かれた年，引用もしくは参考にしたページタイトル，官庁などの公式記録の場合は発表された年月日，ホームページのタイトル，URL，自分が閲覧した年月を記載すると良いでしょう。インターネット上の情報は，頻繁に更新されますので，自分がいつそのページを見たかという情報も重要になります。